

製品名: N-Shc ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14913**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	SHC3
別名	SHC3; NSHC; SHCC; SHC-transforming protein 3; Neuronal Shc; N-Shc; Protein Rai; SHC-transforming protein C; Src homology 2 domain-containing-transforming protein C3; SH2 domain protein C3
遺伝子 ID	53358.0
SwissProt ID	Q92529
免疫原	抗血清はヒト SHC3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

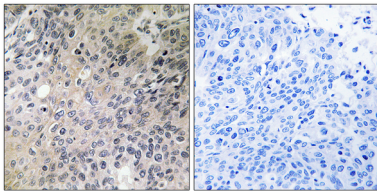
背景

機能: 活性化成長因子受容体をニューロンのシグナル伝達経路に結合させるシグナル伝達アダプター。皮質ニューロンにおいて、神経栄養因子活性化 Trk 受容体のシグナル伝達経路に関与する。、PTM: チロシンリン酸化。、類似性: 1つの PID ドメインを含む。、類似性: 1つの SH2 ドメインを含む。、サブユニット: リン酸化チロシン依存的に Trk 受容体と相互作用する。活性化されると GRB2 に結合する。活性化 EGF 受容体と相互作用する。、組織特異性: 主に脳で発現する。脾臓を除く他の組織ではほとんど検出されない。大脳皮質、前頭葉、側頭葉、後頭極、海馬、尾状核、扁桃体に高発現している。小脳、延髄、脊髄に低レベルで発現している。機能: 活性化成長因子受容体をニューロンのシグナル伝達経路に連結するシグナル伝達アダプター。皮質ニューロンにおいて、神経栄養因子活性化 Trk 受容体のシグナル伝達経路に関与する。、PTM: チロシンリン酸化。、類似性: 1つの PID ドメインを含む。、類似性: 1つの SH2 ドメインを含む。、サブユニット: リン酸化チロシン依存的に Trk 受容体と相互作用する。活性化されると GRB2 に結合する。活性化 EGF 受容体と相互作用する。、組織特異性: 主に脳で発現する。脾臓以外の組織ではほとんど検出されない。大脳皮質、前頭葉、側頭葉、後頭極、海馬、尾状核、扁桃体に高発現している。小脳、髄質、脊髄で低レベルで発現しています。

研究分野

ErbB_HER;ケモカイン;接着斑;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害;神経栄養因子;インスリン受容体;神経膠腫;慢性骨髄性白血病;

画像データ



SHC3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。